

研修コースの概要

- 1 いちご高設栽培コース (高設栽培装置を使用した、いちごの促成栽培)
 - ・約 230 m² (6.5m×35m) のハウス内に設置した高設ベッド (地上 1m くらいの高さで、腰をかがめずに栽培管理が可能) を用いていちごの養液土耕栽培を行い、技術を習得する。
 - ・いちご苗は 9 月に定植する。温風暖房機や炭酸ガス発生装置等の機器を駆使した温度・湿度・CO₂濃度等の環境制御技術により、いちごを栽培管理し 12 月から 5 月の出荷を行う。
 - ・いちご苗、肥料、資材、灯油、電気等の費用負担が必要 (概算 100 万円程度)。
 - ・収穫期間中は、ほぼ毎日収穫作業と出荷作業が必要。
 - ・出荷先は直売所、スーパーマーケット等で自身による交渉が必要。
 - ・就農時には、栽培施設整備のために多額の資金が必要。

- 2 果菜類周年栽培コース
(暖房設備、養液土耕装置を使ったトマト周年栽培またはいちご土耕栽培)
 - ・230～260 m² (6.5m×35～40m) のハウス内に、トラクタで畝を立て、トマトまたはいちごの養液土耕栽培を実践することで、栽培管理技術を習得する。
 - ・温風暖房機や炭酸ガス発生機等による温度・湿度・CO₂濃度等の環境制御技術と、養液土耕装置を用いた肥培管理技術を習得する。
 - ・トマトは 10 月頃に苗を植え付け、1 月～6 月に出荷を行う。いちごは 9 月に苗を植え付け、12 月～5 月に出荷を行う。
 - ・苗、肥料、資材、灯油、電気等の費用負担が必要 (概算 100 万円程度)。
 - ・収穫期間中は、ほぼ毎日収穫作業と出荷作業が必要。
 - ・出荷先は直売所、スーパーマーケット等で自身による交渉が必要。

- 3 無加温施設栽培コース
(無加温のビニールハウスを使った、葉物野菜やトマト等果菜類等の野菜周年栽培)
 - ・230～260 m² (6.5m×35～40m) の無加温ハウスで、トラクタで畝を立て、葉物野菜やトマト等果菜類等を組み合わせた野菜の周年栽培を実践することで、栽培技術を習得する。
 - ・葉物野菜は 9 月～2 月に栽培し出荷する。果菜類は 1 月に種をまき、3 月に植え付け、5 月～6 月に出荷する。いちごは 10 月に植え付け、1 月～5 月に出荷を行う。
 - ・苗、種、肥料、資材、電気代等の費用負担が必要 (概算、最低 30 万円程度)。
 - ・栽培管理及び収穫出荷作業のため、ほぼ毎日ハウス管理が必要。
 - ・出荷先は直売所、スーパーマーケット等で自身による交渉が必要。

- 4 有機栽培コース (ビニールハウスを使った農薬・化学肥料を使用しない野菜類の栽培)
 - ・約 120 m² (6m×20m) のハウス 1 棟または 2 棟で、トラクタで畝を立てて、葉物野菜、トマト、いちご等を栽培し技術を習得する。
 - ・葉物野菜は 9 月～2 月に栽培し出荷する。果菜類は 1 月に種をまき 3 月に植え付け 5 月～6 月に出荷する。
 - ・苗、種、肥料、資材、電気代等の費用負担が必要 (概算、最低 30 万円程度)。
 - ・肥料は JAS 有機基準に適合したものを使用する。
 - ・栽培管理及び収穫出荷作業のため、ほぼ毎日ハウス管理が必要。
 - ・出荷先は直売所、スーパーマーケット等で自身による交渉が必要。

- 5 全コース共通 (露地栽培)

ほ場面積は約 200 m²で、自身で作付け計画を立て、栽培管理から収穫・出荷作業までを実践する。有機栽培コースの研修生は農薬・化学肥料を使用しない野菜類の栽培を行う。